

林業普及現地情報（7月）

1 タイトル：『ナンゴウヒ』のブランド化に向けて！～阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会～

2 内容

(1) 期日・場所：平成29年7月14日(金)、阿蘇森林組合高森支所(阿蘇郡高森町)

(2) 概要

阿蘇南郷檜のブランド化への歩みは、35年前の昭和57年にさかのぼります。後世に郷土の宝を引き継ぐため、組織的な調査研究を実施することを目的として熱心な林家34名により「阿蘇郡ナンゴウヒ研究会」として活動した記録が残っており、今日のブランド化推進に向けた土台が作られましたが、林業不振の影響を受け活動は下火となっていました。

当協議会は、このままではせつかくの地域の宝が活かせないとの危機感から、ナンゴウヒ研究会発足当時のメンバーを中心に、更には阿蘇地域の市町村、熊本県や森林組合等の関係機関が参加し、草村高森町長を会長に平成26年度に設立されました。それ以降は関係者が一致団結して事業の企画立案・実行にスピード感を持って取組まれています。

私達は、当協議会の本年度第1回幹事会にオブザーバーとして参加し、ブランド化に向けては、消費者(製材業等の木材加工業者)から信頼される南郷檜の特性を活かした丸太生産ができるよう当協議会で作成した「阿蘇南郷檜育成管理技術体系マニュアル」に基づく森林の手入れの徹底が大切であることを解説しました。



【ナンゴウヒと一般ヒノキの比較】

写真左：ナンゴウヒ

(幹が通直で円柱形に近い)

写真右：一般的なヒノキ

(幹に根曲りやトックリ病が発生)

- | | | | | |
|--------------|-------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-------|
| 3 種類 | <input type="checkbox"/> | ①普及情報 | <input checked="" type="checkbox"/> | ②普及活動 |
| 4 テーマ区分 | <input checked="" type="checkbox"/> | ① 県産木材の利用促進 | | |
| | <input type="checkbox"/> | ② 林業の成長産業化のための森林整備の推進 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | ③ 山村地域の活性化 | | |
| 5 HP掲載 | <input checked="" type="checkbox"/> | 可 | <input type="checkbox"/> | 不可 |
| 6 共用キャビネット掲載 | <input checked="" type="checkbox"/> | 可 | <input type="checkbox"/> | 不可 |

【連絡先】

熊本県 農林水産部 森林局 森林整備課

森林集約化・普及班 藤田・杉山

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL096-333-2441、Fax096-383-7704

